

メルヘンハウス通信



今月の和とく情報

コートと羽織

和装で外出する際には、キモノや帯を守るためにも、上に一枚羽織るのが基本です。季節やTPOによって変わるコートと羽織の基本ルールを知識として知っておいて下さい。

これからの和とくポイント

コートと羽織これさえあれば

基本知識として、コートは防寒や塵除けのため、屋外のみで着用するもの、羽織は防寒およびおしゃれの一環として、屋外はもちろん屋内でも着てよいもの、という違いがあります。礼装から日常着まで、キモノと帯を汚さないよう、外に出るときは何かしら重ねることが一般的です。

男性と異なり女性の礼装は羽織なしが基本であることを踏まえると、礼装を着て外を移動するときにはコートが必須となるわけです。道行コートでも道中着でも、生地が上質でシンプルな色柄のものを持っていくとよいでしょう。帯まわりが見え、組み合わせやバランスに気を配る羽織は年を重ねた上級者に適する装いの雰囲気になります。

人前で脱ぐこともあるので、羽裏の色柄も大切に、羽織紐の太さは権力の象徴とされたので、細目のものが上品、細い金のネックレスを用いても素敵です。

よく羽織の季節を「紅葉のころからさくらの咲くころまで」と表現しますが、これは裕のコートも同様です。いつからどれと堅苦しく考えず、季節の移ろいに身を委ね、肌が浴する一枚を重ねましょう。コートは「外出の必需品」羽織は「大人のたしなみ」です。

コートと羽織の誂えの要所

丈…決まりはありませんが流行はあります。裾から約35センチ上げたくらいが現在の主流ですが、身長に合わせて誂える時はキモノと帯を着けた状態で丈を測りましょう。

衣紋…キモノの衿にぴったりと沿った羽織は美しいもの。いつもの衣紋の抜き具合に合わせてキモノの繰りと揃えることが大切です。

シルエット…男性はストンと真っすぐ着ますが、女性は前から見て裾すばまりに、横から見て水平からやや前下がりに作ります。乳の高さも大切、通常は帯の上線と帯締めの間を羽織紐が通る位置をお薦めしています。



さくらきもの学院
着付け教室 受講生募集中



着付けのご依頼承ります

今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

秋のやしま祭りには多くの皆さま方にご来店頂きまして誠にありがとうございました。皆様に喜ばれる良い品を取り揃えたお店作りにはしてまいりたいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

12月の催事・イベント

◎新春催事・・・お年玉の市
とき：2021' 1月15(金)～18日(月)

カルチャー

◎ヨガ教室
とき：5.12.26日(土)
17:30～18:30

営業日のお知らせ

12月29日～31日・・・休業
1月1日～2日・・・休業
1月3日・・・営業

※各詳細のお問い合わせはお店まで

さくらきもの学院 ※詳細は事務局まで

◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>
◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

レッスンのお申込受付ます♪

- ・マンツーマンレッスン：初等科6回
- ・マイアップレッスン：3,000円/回
- ・1dayレッスン：500円/回



ありがとう

